

JOYO BANK NEWS LETTER

2025年1月31日

PFI 事業向け融資の実行について

常陽銀行（頭取 秋野 哲也）は、このたび、筑波大学が実施する PFI*事業（以下、「本事業」）向け融資を実行しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本事業は、株式会社日立ハイテクが「小児がん、巨大移動性腫瘍など、難治性腫瘍に対する集学的陽子線治療を継続すること」および「将来的な X線治療、陽子線治療、その他の先進的な治療を総合的に実施する施設の実現」を目的として、茨城県つくば市内の筑波大学附属病院構内において、陽子線治療装置等の調達、陽子線棟の改修・新設を実施し、約 20 年間にわたって運転・保守管理、施設維持管理を行うものです。

当行では、本事業への融資により、陽子線加速器によるがん治療に先駆けて取り組んできた筑波大学の放射線治療の世界的な研究教育・医療拠点としてのさらなる発展に貢献したいと考えております。

当行およびめぶきフィナンシャルグループは、「地域とともにあゆむ価値創造グループ」を長期ビジョンに掲げ、今後ともステークホルダーの皆さまの課題に寄り添い、ともにあゆみ解決することで、新たな価値を創り続け地域社会の持続的成長に貢献してまいります。

* 公共施設の建設、維持管理運営等に民間の資金、経営能力および技術的能力を活用することにより、同一水準のサービスをより安く、又は同一価格でより上質のサービスを提供する手法。

記

【事業概要】

事業名称	筑波大学附属病院陽子線施設整備運営事業
発注者	国立大学法人筑波大学
事業概要	筑波大学附属病院陽子線施設の整備・運営
契約期間	2021年9月30日～2045年8月31日
事業者	株式会社日立ハイテク ・所在地：東京都港区虎ノ門一丁目17番1号 虎ノ門ヒルズ ビジネスタワー ・代表者：代表取締役 飯泉 孝
融資実行日	2025年1月31日
貸付人	株式会社常陽銀行

以上



常陽銀行



めぶきフィナンシャルグループ

常陽銀行

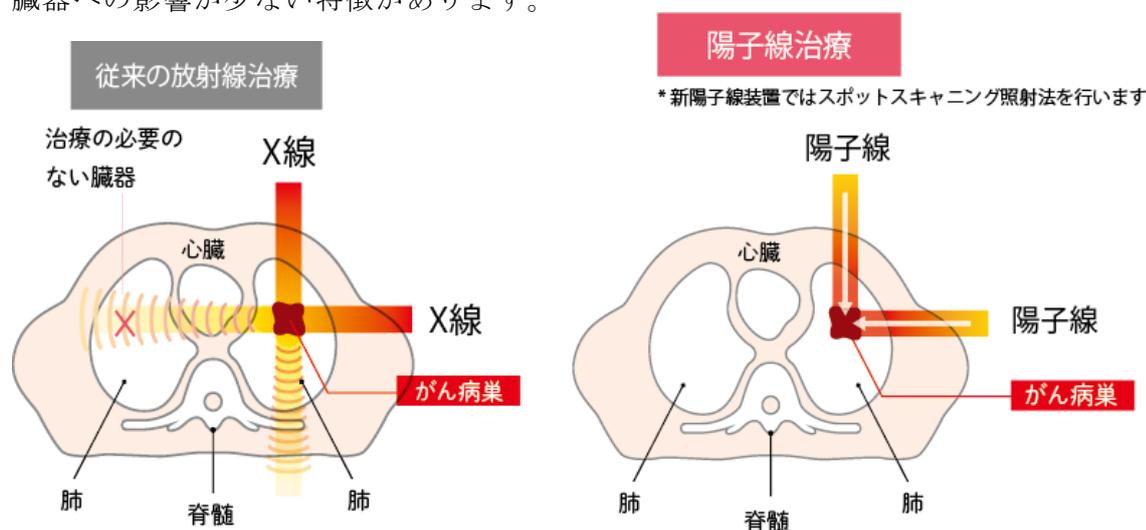
〒310-0021 茨城県水戸市南町2-5-5

Tel. 029-231-2151(代表) www.joyobank.co.jp

(別紙)

■陽子線治療について

がんの治療法には、外科手術、化学療法、放射線療法の大きく3つがあります。陽子線治療は、この中の放射線療法の一つです。陽子線治療は、陽子線が持つその物理的特性によって、治療効果が高く、体への負担や副作用が軽い、という点で注目されています。従来のX線治療では、病巣だけでなく、心臓や肺などにも照射してしまうのに対し、陽子線治療は、効果を発揮するエネルギーのピークを病巣に設定すればそこで停止するため、周辺の正常臓器への影響が少ない特徴があります。



(提供：筑波大学附属病院 陽子線治療センター)

■筑波大学附属病院における粒子線・陽子線治療について

筑波大学附属病院は1973年から粒子線加速器を用いたがん治療を提案し、1983年に世界初の臨床応用を開始しました。2001年に導入した治療装置の老朽化に伴い、新施設整備を進めています。PFI導入により大学と民間が協力し、2024年冬に新陽子線棟、2025年夏に新装置が引き渡される予定です。

2024年9月現在、国内では26カ所の重粒子線・陽子線治療施設が稼働し、年間約10,000人が治療を受けています（出典：公益財団法人 医用原子力技術研究振興財団 HP <https://www.antm.or.jp/information/clinic/>）。筑波大学附属病院はそのうち約500人を治療しており、累計登録患者数は8,182名です。（2024年12月末実績）

筑波大学附属病院陽子線治療センターの詳細は、以下のURLをご参照ください。

<https://www.pmr.c.tsukuba.ac.jp>